

平成30年度行政評価 施策評価シート (平成29年度実績)

施策名 地域の防犯対策等の充実

施策コード 040201

1. 施策の担当	
主管課	市民協働部 自治振興課
関係課	道路公園課、学校教育課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第4章 安全で、ひとと地球にやさしいまちづくり (安全・環境)	節 第2節 地域安全
	施策	地域の防犯対策等の充実	

**基本方針**

- ・ 地域ぐるみの自主防犯体制を図るため、警察や周辺自治体、関係機関と連携しつつ、市民の防犯意識の高揚に努めるとともに、防犯運動を推進し、犯罪のない安全なまちをめざします。
- ・ 地域の安全のため、防犯灯などの施設整備を進めます。

**現況と課題**

- ・ 1市2町(泉佐野市、熊取町、田尻町)で組織する防犯協議会を中心に、防犯に関する取り組みを行っています。また、地域の団体や自主的なボランティアなどの活動も積極的に行われています。
- ・ 地域の安全のため、防犯灯などの整備・充実が必要です。
- ・ 都市化の進展に伴う犯罪件数の増加や多様化する犯罪から市民を守るため、防犯パトロールなどの防犯体制の強化を関係機関と図ることが必要です。
- ・ 平成24年5月実施の市民アンケート結果から判断すると、重要性が高く満足度が低い施策と位置づけられますので、満足度を上げる必要があります。

**施策目標**

対象 (誰を、何を、どこを)

市民

意図 (どのような状態にしたいのか)

コミュニティなどの地域組織と連携し、防犯活動を進めます。

3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度 (偏差値)	43.1	43.1	43.1	43.1	43.1	43.1	
重要度 (偏差値)	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	

4. 施策にかかるコスト								
	単位	H28決算	H29決算					
コストの内訳	人件費	千円	10,864	10,447				
	事業費		42,642	51,972				
	フルコスト		53,506	62,419				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		1,832	1,205				
	市債		0	0				
	その他		3,087	8,385				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		48,587	52,829				
一般財源2 (=直接事業費-特定財源)	37,723	42,382						

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		防犯灯の総設置数					
項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画	H31計画
目標値	8,000.0	8,040.0	8,080.0	8,120.0	8,160.0	8,200.0	
実績値	7,996.0	7,997.0	8,198.0	8,429.0	8,523.0		
達成度	99.95	99.47	101.46	103.81	104.45		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
この数値が増加することで、地域の安全確保が進んでいることがわかります。		過去の実績を基に目標値として設定し、LED防犯灯設置補助金導入後は、年間40灯増を設定する。			各町内会・自治会住民の防犯意識の向上によるもの。LED灯への推進も大きい。		

② 成果指標 2		全刑法犯各年中件数					
項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画	H31計画
目標値	1,700.0	1,600.0	1,500.0	1,400.0	1,300.0	1,200.0	
実績値	1,672.0	1,581.0	1,473.0	1,304.0	1,235.0		
達成度	101.67	101.2	101.8	107.4	105.3		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
この数値が減少することで、地域の安全確保が進んでいることがわかります。	府の治安対策の取組み（3年後に街頭犯罪認知件数ワースト1返上を目指す）にあわせ、毎年100件程度ずつ減らず目標値を設定した。	全体的には減少傾向。防犯街頭キャンペーン活動等をはじめ、関係機関・団体との連携により防犯活動の推進に努めた。

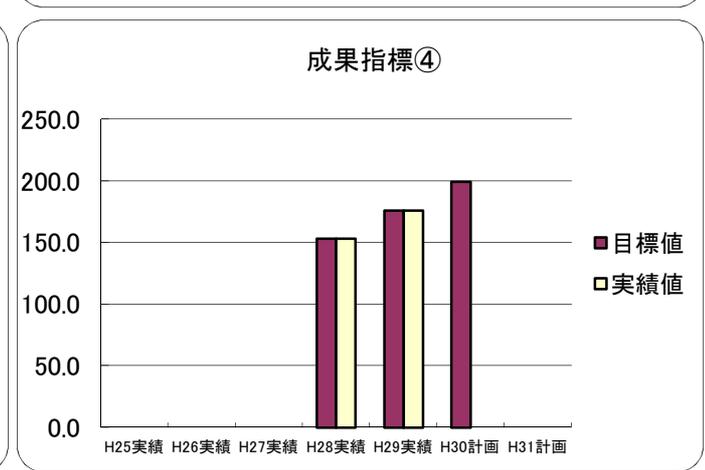
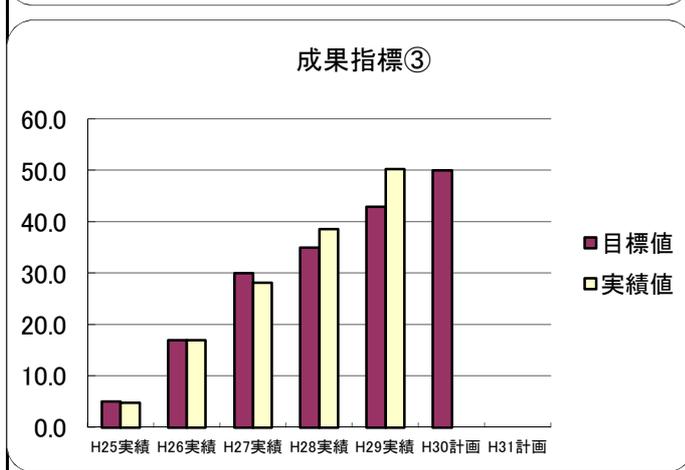
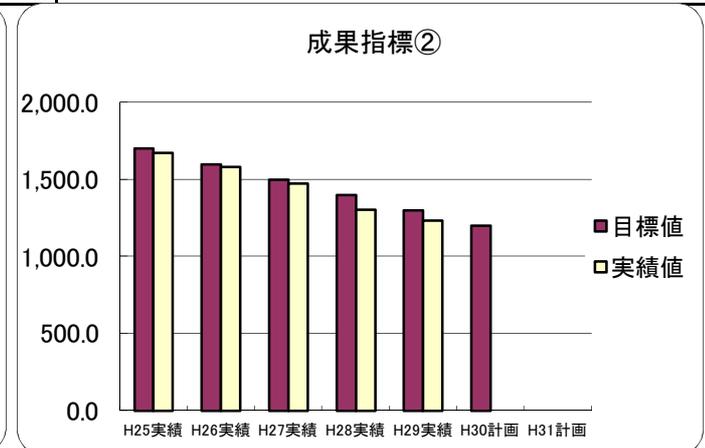
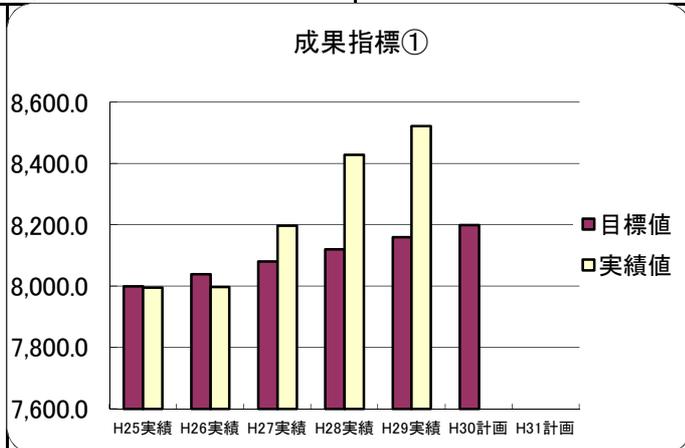
③ 成果指標 3		市内の防犯灯のLED化率					
項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画	H31計画
目標値	5.0	17.0	30.0	35.0	43.0	50.0	
実績値	4.75	17.0	28.2	38.6	50.3		
達成度	95.0	100.0	94.0	110.29	116.98		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
従来の蛍光灯タイプの防犯灯から、環境に優しく防犯効果の高いLED防犯灯への更新を推進している。	防犯灯の充実及びLED化の促進のため、今後も年間10%程度のLED化率の増加を目指す。	H30年度にLED化率50%になるように推進していく。

④ 成果指標 4		防犯カメラの設置件数（商店街・市営駐輪場・市・教育委員会・町会・自治会）					
項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画	H31計画
目標値				153.0	176.0	199.0	
実績値				153.0	176.0		
達成度				100.0	100.0		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
H25年以前は商店街20台、市営駐輪場44台 防犯カメラを設置 H26年に市内8駅周辺に48台市管理防犯カメラを設置 H27年から市内13小学校区に1台ずつ通学路防犯カメラの設置を推進 H28年から町会・自治会に対し、補助金を出して町会・自治会管理の防犯カメラの設置を推進	町会・自治会管理の防犯カメラを増やして、安心安全なまちづくりを推進する。教育委員会管理の通学路防犯カメラを増やして、児童生徒の登下校時の見守り活動の充実を図る。	町会・自治会の管理による防犯カメラを毎年10台ずつ増やして行く。 教育委員会の管理による通学路防犯カメラを毎年13台ずつ増やして行く。

図表



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>4</b>	防犯灯は、毎年設置数を増やしており、地域の安全を図っている。また、街頭犯罪件数についても減少をめざし、警察や周辺自治体、関係機関と連携し、犯罪の防止に努める。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>1</b>	安全・安心な街づくりは、市民共通の願いであり、今後も地域の防犯体制の強化が必要である。平成24年度市民アンケート調査により満足度(偏差値)が43.1と微減したため。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>3</b>	犯罪のない安全な街づくりは社会共通の目的であり、そのためにも地域ぐるみの防犯体制をさらに充実させる必要がある。また、地域安全センター設置の促進を進めていくなど防犯対策等の充実を図っていく。
	合計点	(10点中) <b>8点</b>	
総合評価	<b>B</b>	犯罪のない安全な街づくりは社会共通の目的であり、引き続き事業の継続が望まれる。	
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)	<b>B</b>	成果指標の見直しを検討すること。	
三次評価(理事者による評価)	<b>A</b>	成果指標の見直しを検討すること。	

7. 施策を構成する事務事業							
	予算コード	事務事業名	H29年度決算額			H30年度予算	一次評価
			人件費	事業費	一般財源		
1	01001200	防犯灯助成事業	4,195	35,669	33,934	0	B
2	01003200	防犯推進事業	6,252	16,303	8,448	0	B
合計			10,447	51,972	42,382	0	